

平成 29 年度 施策評価表



施策	2001	環境保全の推進	施策推進担当部	市民環境部
施策の方針	地球温暖化対策を推進するとともに、豊かな自然環境の保全や自然を活かした環境教育に努める。			

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 市の公共施設における温室効果ガス年間排出量	t - co2	32,344	32,021 28,894.0	31,698	31,375	31,052	30,727	110.8%	106.3%
② 大村湾のCOD値	mg/L	2.5	2.0 2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	95.2%	95.2%
③ 環境講座・イベントへの年間参加者数	人	1,159	1,200 594.0	1,200	1,200	1,200	1,200	49.5%	49.5%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

①市公共施設における温室効果ガス排出量は、温室効果ガスを算出するための排出係数が引き下げられたため（H26：0.000613、H27：0.000584、H28：0.000509）、目標値を下回り達成したが、仮に基準年度である平成26年度の係数で算出した場合は、0.23%の増となり、目標を上回り達成できなかった。
 ②大村湾のCOD（化学的酸素要求量）値は、湾全体平均値は2.1mg/Lで目標値2.0mg/Lは達成しなかった。観測地点別にみると、海水の流入近の湾北部においては低い値（1.7mg/L～1.8mg/L）であったが、海水の流入がない湾奥では高い値（2.6mg/L）であった。
 ③環境講座・イベントの参加者（大村湾ウォッチング、リバーウォッチング、環境出前講座、もったいない抽選会）は、選考方法を変更したこと、開催時に天候が悪かったこと及び他のイベントと重なったことなどの影響から減少した。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	36,549	26,092	23,619	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	2,170	1,146	
	地方債	21,500	17,200	17,200	
	その他	0	0	0	
	一般財源	15,049	6,722	5,273	
	人件費	17,946	14,503	-	
フルコスト	54,495	40,595	-		

施策の概要

200101	地球温暖化対策の推進	市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を推進するため、家庭生活や企業活動における省エネルギー活動の普及啓発や建築物の省エネルギー化を促進します。また、公共施設については、太陽光などを活用した再生可能エネルギーを今後も率先して導入するとともに、市民や事業者に対し、普及啓発を行います。
200102	豊かな自然環境の保全	大村湾や多良山系などの豊かな自然環境を守るため、水源かん養機能や土砂災害防止機能などを持つ森林・農地の保全を推進します。また、県、大村湾流域市町等で組織する「大村湾をきれいにする会」との連携を図りながら、大村湾の環境保全に努めます。
200103	環境保全意識の醸成	市民や事業者が環境についての理解を深め、自発的な環境保全活動の実践につながるよう、啓発を行うとともに、大村湾や多良山系など、自然環境を活かした環境学習の充実を図ります。

【CHECK (評価)】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>(地球温暖化の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市公共施設における温室効果ガス排出量は、今後、ボート事業のナイター化、中学校給食センター、県立・市立一体型図書館の建築など大型事業が目白押しであり、増加する見込みである。また、大型事業が続くこともあり、依然として市職員1人1人の環境に対する意識が低くなりがちである。 <p>(豊かな自然環境の保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大村湾の浄化対策は、県が中心となって様々な施策を推進しているが、現状は、栄養塩の蓄積による底質の悪化、貧酸素水塊の発生、浅場の減少、海洋生物の生息環境の悪化等により、自浄能力が衰退傾向にある。 <p>(環境保全意識の醸成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生については、各学校で年間の授業計画を年度当初に決定しているため、環境学習を新たに設けることは学校とのニーズが一致しない限り、限られた授業数の中で取り組むことは難しい。大村湾ウォッチング等は、屋外で行うイベントのため天候に左右される。
-------------------------	---

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>(地球温暖化の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象としたエコドライブの研修、環境保全意識向上を目的とした新人研修などを実施をし、環境問題について意識向上を図る。 <p>(豊かな自然環境の保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県や沿岸5市5町等で構成された大村湾をきれいにする会（会長：大村市長）が、環境省、農林水産省、国土交通省に対し、貧酸素水塊の改善、浅場の造成、海洋生物の生息環境の改善等の具体的な対策について要望を行う。 <p>(環境保全意識の醸成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を直接訪問し、ニーズ調査をしメニューづくりをするとともに、年間計画に盛り込んでもらうよう働きかける。 ・環境保健研究センターと協働で行う環境イベントを開催する。
---	---

平成30年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
		事業費	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	

【評価調整委員会意見】

1	施策推進担当部意見のとおり	
<<特記事項>>		

【最終評価（都市経営戦略会議）】

1	評価調整委員会意見のとおり	
<<特記事項>>		